

# 北海道 教区時報

第229号

発行所  
札幌市中央区北3条西19丁目  
(郵便番号 060-0003)  
北海道教区教務所  
電話 011-611-9623  
編集 北海道教区教務所  
発行人 黒田 正宣

## 第8回北海道教区 真宗青年の集い開催



## 第5回北海道教区 本願寺派スカウト キャンプ開催



- ・公聴会報告 (2 p)
- ・胆振組実践運動報告 (3 p)
- ・教区真宗青年の集い報告 (4 p)
- ・スカウトキャンプ報告 (4 p)
- ・シリーズ区令② (5 p)
- ・2012(平成24)年度決算書 (6 p)
- ・北海日誌 常例一覧 (p 8)



## 二〇一三(平成二十五)年度「公聴会」開催される

去る八月二十九日(木)「公聴会」が開催されました。

この度は、宗門・本山の新体制が発足して二年目が経過し、さらなる宗門の発展に向け「御同朋の社会をめざす運動」(実践運動)を中心に、意見や提言を今後の宗務に反映させることを目的として開催されました。

当日は本山より本多隆朗総務、山階昭雄副総務、重点プロジェクト推進室長、総合研究所東京支所



長、統合企画室職員らが出向され、北海道教区からは四十九名の僧侶・門信徒が出席しました。

開会式に続いて「法統継承式」についての概要説明があり、去る四月一五日の立教開宗記念法要後、ご門主様が平成二十六年六月五日をもって、本願寺住職及び浄土真宗本願寺派門主をご退任される旨お述べになり、新門様が法統を継承されるご発表を受け、総局では、本山内局と法統継承にかかわる協議を重ね、明年六月六日に「法統継承式」を執り行うこととなったことが報告されました。法統継承式の日程、またその後に予定される伝灯奉告法要等に関しては、しかるべき時期に通知するので、その折には是非本山本願寺に参拝をいたたくよう依頼がありました。

続いて、実践運動について宗派出向者より報告があり、その中で本年度は運動の展開時期へと移行し、宗派の重点プロジェクトの全



容を宗門全体で共有し、活動状況の情報交換を図ることによって、各活動がお互いにつながり、協力し合う有機的結合のもとで、活動全体の展開をめざしていきたいと述べました。

また、重点プロジェクト推進室より、各活動主体の取り組みの成果を順次発信していき、活動の情報交換ができるよう集約し、成果を共有していく取り組みを進める考えも述べました。

これを受けて、北海道教区より林川涉教区実践運動副委員長より教区の実践運動の現状を報告、加藤泰和重点プロジェクト実行部長より教区災害支援活動について報告を行いました。

その後の意見交換では、出席者より「門徒としては、現在の総合テーマは実態がつかみにくい。過去の基幹運動スローガンのようなわかりやすいもので示していただきたい。」「現場が自主的に取り組む運動になったことで教区間に温度差が生じていることも否めない。本山は情報の収集と発信をより一層行なって、取り組みの差をなくし、全体の取り組みとなるよう努めてほしい。」「教区計画策定にあたり、宗勢基本調査のデータを教区単位で抽出・提供できるように検討いただきたい。また、調査目的を明確にし周知徹底した上で活きる調査を行ってほしい。」「本願寺新報等に記事掲載されたことで一部の門徒は実践運動を





知ったが、全門徒に伝わっていない。門徒が本気になって取り組めるようにしっかりと情報を伝える努力を行ってほしい」。

「東日本大震災支援金の募金が減少傾向にある対策として、『宗報』に振込用紙を綴じ込んではどうか」など、多くの建設的な意見が出されました。

最後に、本多総務より総括があり、「直接僧侶、寺族、門信徒の方々から提案・提言を意見することができ、有意義な公聴会となった」と結び、散会しました。

## 「胆振組の活動を振り返って」

胆振組総代会会長

両川 武弘

「お寺離れ」という言葉が聞かれるようになって久しいですが、核家族化の中で育った若い世代、高齢化、過疎化に伴う門信徒の転出など、確実にお寺に参られる方々の減少が加速しており、寺院のおかれていく環境は非常に厳しくなっております。

北海道教区においても廃寺、解散、近隣寺院との合併、教区賦課金の減免願、代務住職寺院など、増加傾向にあります。この問題は住職のみならず総代にとっても大きな課題として投げかけられているのが実状であります。

胆振組総代会では、まず年二回開催されていた門信徒総代会の内容を検討。総会と講演会から研修主体に改め、形骸化した総代会組織を見直し、講師も身近な方をお願いすることとし、最初に北海道教区寺井紹道教務所長(当時)に「宗法の改正と総代の果たす役

割」、胆振組朝倉瑞昌組長より「総代の役割と任務」とのテーマでお話しをいただき参加者で議論させていただきました。このことにより、現状認識と情報の共有化が図られ、住職と総代と共にこの難題解決のために知恵を出し、力を合わせ将来への確かな道筋を見極め、護持発展を願うべく進まなければならないことに気づかされたように思われます。

各寺院の報恩講、永代経等の取り組みにも新たな改善が図られました。特に胆振組東部では雅楽の生演奏や朗読劇が報恩講に組み込まれるという新たな展開がうまれました。また、連研と報恩講スタンプラリーが胆振組連研委員会の若手僧侶の創意工夫により魅力あるものに改革され、受講者の学習意欲を高めています。さらに「連研閉校式」や「連研修了者の集い」、「報恩講スタンプラリー報告会」を活用して連研修了者あるいは中央教修了者から体験講話や、門徒推進員として活躍されておられる方からの実践運動報告など多くの機会を捉えて交流会が企画され

ています。

その結果、門信徒としての自覚を育み、連携、絆も強まり、各寺院への相互訪問も活発化し身に付いた多くの知識が寺院の活性化・発展に貢献。住職を始め総代各位からの厚い信頼が寄せられるようになりました。

今後胆振組では門信徒各位の目線から発せられる意見を発信しながら、横のつながりを大事に、一人ひとり日頃から感謝する生活を丁寧に「あたりまえ」ではなく「有難い」「おかげさま」の世界に生かされている今を喜びつつ、声高らかにナミアミダブツの輪を広げ「御同朋の社会をめざす運動(実践運動)」に繋がる活動を進めてまいります。





## 第八回北海道教区真宗青年の集い開催

去る、八月三十一日(土)〜九月一日(日)に本願寺札幌別院にて北海道教区仏青連盟(上坂由香利委員長主催)「第八回北海道教区真宗青年の集い」が開催されました。今回の参加は三十七名中、単体会以外より六名の参加がありました。

まず、僧侶と会員のパネルディスカッションにより、僧侶はお寺での活動や青年層との活動を、会員は仏青活動のきっかけや現状などをお話いただきました。

会員の方が仏青に関わるきっかけ、仏青を続けている理由として「元々、札幌龍谷高等学校の卒業生であり高校時代の先生に声をかけてもらい、その後街のイベント等に参加したことが今につながっている。」「昔あった仏青を復活させたく、若者向けのイベントを企画しそのスタッフとして関わった。これからもそのスタッフを集め次に繋げたい。」等の理由が挙げられました。

その後、ワールドカフェという手法を用いて、北海道ならではの活動やお寺で出来ること、やりたいたいことなどの意見抽出を行いました。北海道ならではの活動としては、ジンギスカンや北海道の名産を食べるイベントを企画する、広い土地を生かして運動会を開く等、若者を中心に考えた意見が出ました。

また、お寺で出来る事として、寺(てら)コンや仏前結婚式、雅楽とのコラボコンサート、色々な種類の会員が集まるといふ仏青を生かし就活の相談にのる等の意見が出ました。

全国大会の計画を立てている中で、多くの意見が聞けたことは、非常に参考になったと感じます。また、僧侶と門徒、お互いやりたいたことは変わりませんが仏教、お寺となると急に敷居が高くなり、構えてしまう方が多い中でこのような意見を実践に実践していきたいです。

## 第五回スカウト

### キャンポリー開催

去る、九月十四日(土)〜十六日(日)まで雨煙別小学校コカコーラ環境ハウス(栗山町)で、北海道教区スカウトクラブ主催にて「第五回北海道教区本願寺派スカウトキャンポリー」が開催されました。道内各地から、本願寺派の寺院を活動母体とするスカウト指導者が一〇〇名集まりました。午前中の雨もあがり、強風の中での開会式でしたが献灯・献華・献香を行ない、真宗宗歌や連盟歌



を元氣よく歌いました。ピーバー！カブスカウトは表札作りや体育館でのゲームなど、ボーイ・ベンチャースカウトはテントの設営を行ないました。

二日目は朝から雨の中での作業でしたが、予定していた生物観察は雨のため出来なかったものの、午後からは夕張川下りなどを行いました。夜には体育館で大営火を行い、各団毎に手旗信号や歌、イカ踊りやダンスなどみんなで盛り上がりました。

三日目は雨の中、撤営を行ない清掃。「来たときよりも美しく」を実践し、環境ハウスの方から「これほどきれいにしていたけるとは」との言葉も頂きました。その後、空知南組唯専寺へ参拝を行い、今年の三月に亡くなられたスカウトクラブ顧問であった吉野了乗氏を偲ぶと共に、本願寺派のスカウトとして「らしいはお勤めしました。」の歌をお勤めしました。

雨の中の三日間でしたが、スカウト同士交流を深め





る事が出来た大会となりました。



### 第三十七全国寺族青年軟式野球大会について

去る九月三十日(月)〜十月二日(水)にかけて京都府立山城総合運動公園にて第三十七全国寺族青年軟式野球大会が開催されました。

北海道教区「ノースウイング」は第一試合で長野・国府教区混合チーム「サング」に対



戦しました。途中、先発投手が怪我により交代すると、このアクシデントがありました。投手が好投し、相手打線を一点に抑え六対一で勝利しました。



二回戦は、京都教区『ベースボールクラブ48』と対戦し、初回に幸先よく先制するも、その裏ヒツトと守備の乱れから四点を失い、追いかける展開になるも、その直後、打線が爆発し、結局七対五で勝利を収め、北海道教区として久々の二日目に駒を進めました。

ベスト四を懸けた相手は、強豪大阪教区『阿修羅』。初回に北海道教区が二点を先制したが、守備の乱れから逆転を許す苦しい展開になりました。時間制限で迎えた最終回に同点に追いつきました。が、後一本が出ず、迎えた相手の最終攻撃。ワンアウトから、四球でランナーが出塁し、盗塁を許し、一塁三塁のサヨナラのピンチ。迎えた打者の打球は、セカンドゴロに打ち取るものの、三塁ランナーを牽制し、一塁に送球後、三塁ラ

ンナーがホームに走り、本塁クロスプレーに。懸命に投げた送球も惜しくも間に合わず、四対五のサヨナラ負けとなり、ベスト四への進出は叶いませんでした。

### シリーズ区令②

## 北海道教区寺院振興対策委員会設置規則

この区令は、北海道教区における寺院振興対策の推進を旨とし、二〇〇九(平成二十一年)年に設置されました。宗派においても同様の規則が設置され、現在、寺院活動の実態調査、収集整理が行われております。寺院振興対策とは、社会問題となつてい

各組組長の計十九名にて組織されております。

大会は、大分教区『赤色赤光』が大会三連覇を果たしました。来年度はベスト四を目指し部員を随時募集しております。興味のある方は教務所天野まで。

過疎・過密の中にある寺院の将来を見据え、今後の振興を図ることです。本区令に定められている委員会の主な所掌事項としては、寺院振興金庫の貸付・助成申請の事前審査及び事後調査、寺院の活動実態の調査、収集整理及び把握に関すること、総局が決定した寺院振興支援対策の策定及び実施に関する事等があります。委員会は、委員長が教務所長、委員として教区会議長、教区会議副議長、北海道は非常に広域な地域であり、札幌都市圏の人口の一局集中になっております。近い将来、地方は過疎化により寺院運営が困難になり、また札幌都市圏においては、法務の多忙により、教化活動に資する時間の確保が困難になります。そのため、地方寺院への寺院運営の補助、また都市圏における教化活動の補助が必要となります。宗派寺院振興対策金庫の貸付・助成制度を以て、その対応がされております。過疎地域に所在する寺院に対しては、法座活動の推進の為の助成制度、都市圏に対する対応としては、開教拠点の設置にかかる助成制度があります。



## 2012(平成24)年度 一般会計北海道教区歳計決算書

## 歳入

款	項	目	費	目	決	算	額	摘	要
1	教区賦課金				50,376,375				
	1	本年度賦課金			50,376,375			5ヶ寺減免、1ヶ寺未納	
	2	過年度賦課金			0				
2	宗派助成金				23,622,022				
	1	懇志助成金			7,203,630			門徒講・他教化助成	
	2	各種助成金			13,043,392			教務所長給与資金、他	
	3	各種交付金			3,375,000			組・寺院への交付金	
3	冥加金				2,069,000				
	1	願記冥加			2,054,000			110件	
	2	その他冥加			15,000			得度考査 5回分	
4	教化協力金				3,130,000				
	1	教化協力金			3,130,000			5別院からの協力金	
5	雑収入				1,808,326				
	1	雑収			1,679,326			教化団体事務費、他	
	2	その他			129,000			研修会参加費	
6	回金				0				
	1	(特)退職積立金より回金			0				
	2	(特)平衡資金より回金			0				
	3	(特)教学振興資金より回金			0				
7	前年度繰越金				15,965,057				
	1	前年度繰越金			15,965,057			2011(平成23)年度繰越金	
		合		計	96,970,780				

## 歳出

款	項	目	費	目	決	算	額	摘	要
1	伝道教化費				13,889,187				
	1	伝道費			911,791				
		1	布教推進費		159,361			離島布教費	
		2	文書視聴覚費		569,520			教区時報発行費	
		3	電子情報費		182,910			HP制作費	
	2	寺院振興費			2,505,260				
		1	研修費		1,402,420			各種研修会開催費	
		2	推進費		1,102,840			組巡回経費・他	
	3	組織教化費			10,472,136				
		1	組教化助成		6,422,136			組助成金	
		2	連盟助成		2,900,000			教区連盟助成	
		3	団体助成		500,000			教区団体助成	
		4	社会教化助成		400,000			社会教化助成	
		5	学事助成		250,000			道内宗門校助成	
2	各種交付金				3,375,000				
	1	各種交付金			3,375,000			組への各種交付金	
3	会議費				9,317,895				
	1	教区会費			2,945,420				
		1	教区会		2,031,000			教区会開催経費 4回	
		2	常備会		541,000			常備会開催経費 4回	
		3	諸費		373,420			教区会議員研修開催経費	
	2	組長会費			977,280				



款	項	目	費目	決算額	摘要
			1 組長会	969,400	組長会開催経費 4回
			2 諸費	7,880	組長会研修開催経費
		3	基幹運動推進委員会	4,544,020	
			1 委員会費	4,544,020	実践運動関係会議費
			2 組相談員会	0	組相談員制度廃止の為
			3 諸会議費	0	
		4	各種会議費	851,175	
			1 地方選挙管理委員会	203,655	選挙管理委員会開催経費 1回
			2 各種会議費	647,520	区令に基づく会議開催経費
4			事務費	10,619,742	
		1	通信交通費	5,993,604	
			1 通信費	1,667,830	発送費・通信費
			2 交通費	4,325,774	職員出張にかかる経費
		2	渉外費	1,231,319	
			1 各種団体負担	345,600	外郭団体負担金
			2 寄贈接待費	100,000	政教分離を守る北海道集会経費
			3 慶弔費	340,000	祝儀10件、香儀15件
			4 交際費	445,719	教務所長交際費
		3	宗会選挙事務	441,035	宗会選挙にかかる事務費
		4	諸費	2,953,784	
			1 印刷費	1,137,926	コピー代、封筒調製費
			2 備品費	290,535	サーバー関連機器費
			3 事務機器費	1,229,034	サーバー更新費、他
			4 消耗品費	271,674	事務用品費、他
			5 雑費	24,615	カラー布袍クリーニング費、他
5			管理費	1,275,600	
		1	維持費	1,275,600	
			1 水道光熱費	1,200,000	札幌別院へ回金
			2 警備費	75,600	教務所金庫警備費
			3 諸税費	0	
6			教務所員費	39,512,886	
		1	職員費	23,065,780	
			1 職員俸給	23,065,780	教務所職員俸給(6名)
		2	諸手当	12,373,570	
			1 慰労手当	8,773,530	慰労手当(66名)
			2 各種手当	3,600,040	家族手当、通勤手当、他
			3 退転職手当	0	
		3	職員関係費	4,073,536	
			1 厚生福祉費	106,550	職員健康診断費、他
			2 各種保険事業主負担	3,966,986	社会保険関係負担金
7			回金	600,000	
			1 (特)退職積立金へ回金	600,000	
			2 (特)平衡資金へ回金	0	
8			予備費	259,680	
		1	予備費	259,680	
			1 第一予備費	(1,035)	4-3補填
				0	
			2 第二予備費	259,680	相馬組三回忌法要支援
			合計	78,849,990	

歳入合計 96,970,780

歳出合計 78,849,990

翌年度繰越金 18,120,790



▼北海道誌

【報告】

8月

- 3日 全国仏青 第4回行事部会
- 13日 教務所夏期休暇(～17日)
- 17日 第4回キャンポリー実行部会
- 19日 実践運動 第3回門信徒教化部会
- 20日 函館組 巡回学習会
- 少年連盟第1回理事会
- 21日 実践運動 第3回寺院活動支援部会
- 29日 公聴会
- 第1回実践運動教区委員会
- 30日 道内別院職員研修会(小樽別院～31日)
- 31日 第8回教区真宗青年の集い(～1日)

9月

- 7日 ビハーラ連区研修会
- 9日 勤式指導所運営委員会
- 10日 実践運動 第3回社会部会
- 第4回重点プロジェクト実行部会
- 保養受け入れのための研修会
- 11日 第1連区議長・所長会(築地本願寺)
- 12日 実践運動被災地落語会(花巻・仙台～15日)
- 14日 第5回北海道教区スカウトキャンポリー(栗山～16日)
- 17日 「平和を願うつどい」(築地本願寺)
- 18日 千鳥ヶ淵全戦没者追悼法要
- 19日 実践運動 第3回僧侶研修部会
- 21日 全国仏青 第5回行事部会
- 28日 布教大会(帯広別院)
- 30日 実践運動 第4回門信徒教化部会
- 第37回回寺族青年軟式野球大会(京都～2日)

10月

- 1日 上川北組 巡回学習会(名寄市)
- 2日 上川南組 巡回学習会(旭川市)
- 3日 実践運動 第4回寺院活動支援部会
- 5日 全国仏青 第2回広報部会(帯広別院)

キッズマイチャレンジ(～6日札幌)

- 7日 利尻島布教(～9日)
- 布教団 団長副団長会議
- 9日 第5回重点プロジェクト実行部会
- 10日 若婦人研修会
- 保育連盟理事会
- 11日 巡講講習会 開講式(胆振組 真宗寺)
- 18日 札幌龍谷高校50周年記念式典
- 21日 Bブロック門徒総代研修会
- 23日 実践運動 常任委員会
- 24日 第6回重点プロジェクト実行部会
- 31日 実践運動 専門部長作業部会

【予定】

11月

- 5日 釧路組 巡回学習会(釧路市)
- 6日 根室組 巡回学習会(厚岸町)
- 7日 保育連盟全国大会準備会
- 保育連盟研修委員会
- 18日 講社ブロック講員研修会
- 22日 第7回重点プロジェクト実行部会
- 26日 第6回若手寺族婦人のつどい
- 29日 第2回少年連盟理事会

12月

- 4日 保育連盟全国大会実行委員会
- 5日 十勝組 巡回学習会
- 9日 実演布教研修会・布教団役員会
- 10日 実践運動 第4回寺院活動支援部会
- 12日 北見西組 巡回学習会
- 24日 実践運動 常任委員会
- 25日 北海道教区保養事業(～31日迄)
- 29日 教務所年末年始休暇(～6日迄)

1月

- 7日 教務所事務開始日
- 18日 まことの保育大学講座(～19日登別)
- 24日 北見東組 巡回学習会

北海道教区常例布教日程(予定)

札幌別院	別院	北見西	北見東	釧路根	十勝II	十勝I	日高	胆振	上川北	上川南3	上川南2	上川南1	空知北	空知南	後志	函館	札幌II	札幌I
(四州教区・今治組・万福寺)	(四州教区・今治組・深水 健司)			(東海教区・海幡組・普元寺)	(北海道教区・十勝組・太子寺)	(北海道教区・空知北組・円満寺)		(熊本教区・宇土北組・宝林寺)	(北海道教区・釧路組・西光寺)	(北海道教区・空知南組・報恩寺)	(山口教区・宇部小野田組・明照寺)	(北豊教区・田川中組・真道寺)			(北豊教区・築城組・浄円寺)	(北海道教区・空知北組・光明寺)	(北海道教区・空知南組・法王寺)	(北海道教区・後志組・無量寿寺)
(山陰教区・鹿足組・妙壽寺)	(北海道教区・空知北組・竜泉寺)		(兵庫教区・神崎組・西正寺)	(北海道教区・留萌組・西暁寺)		(安芸教区・山県太田組・道教寺)	(北海道教区・後志組・照覚寺)	(大分教区・大野組・極楽寺)	(北海道教区・空知南組・報恩寺)	(北海道教区・空知北組・光明寺)	(北海道教区・十勝組・妙法寺)	(東京教区・麻布組・善光寺)	(山口教区・大洋東組・正福寺)	(福井教区・河和田組・明正寺)		(山口教区・岩国組・教法寺)	(山陰教区・千須賀組・永照寺)	(兵庫教区・高砂組・善行寺)
(北豊教区・京仲組・永楽寺)	(滋賀教区・長浜組・浄願寺)			(東京教区・世田谷組・正法寺)	(福井教区・河和田組・明正寺)	(北海道教区・根室組・正光寺)	(北海道教区・十勝組・誓願寺)	(北海道教区・十勝組・誓願寺)	(備後教区・沼隈西組・大東坊)	(北海道教区・上川南組・専証寺)	(兵庫教区・出石組・乗専寺)	(北海道教区・後志組・無量寿寺)	(岐阜教区・黒野組・大性寺)	(四州教区・松山外組・教圓寺)	(兵庫教区・阪神南組・正光寺)	(北豊教区・京仲組・円成寺)	(京都教区・下西組・正住寺)	(福井教区・阪南組・真勝寺)

※変更になる場合がございますのでご了承ください。

敬称略